

北大路魯山人展

Museum Collection II ● 塩田コレクション

二〇二四年九月二十八日[開] …… 十二月二十一日[閉]

The Shioda Collection
Works of
Rosanjin Kitaoji



会場：二階展示室 開館時間：午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただしこの日が祝・休日の場合は開館（翌日休館））

観覧料：一般2,000円（1,600円）、高校生2,500円（2,000円）、六十五歳以上／小学生1,000円（500円）

※1. 内は二十名以上の団体料金。小・中学生は半額。祝・休日、夏休みの期間は無料。

障害者（一般）六十五歳以上の方は、2,000円となります。障害者（大学生以上）と家族の方（障害者一名につき一名）は無料。

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区駒公園1-2

TEL: 03-3416-6011 (代表)

http://www.setagayamuseum.jp/

北大路魯山人 《茶臼瓶酒樽》《赤玉酒壺》 1930-1935年 撮影：上野明宏



《梅園》制作年代不詳

書、篆刻、陶芸、絵画、漆芸、そして美食家として名を高めた料理と多方面に才能を発揮した偉才・北大路魯山人。しかし人を人とも思わぬ傲岸不遜な言動で、生前多くの敵を作りましたが、魯山人と深い親交を結び、終生彼を支援し続けたのが、元利根ボーリング社長・塩田岩治氏でした。

北大路魯山人(1883-1959)は、京都上賀茂神社の社家に生まれましたが、生後間もなく里子に出され、養家を転々となりました。3人目の養父の下で版下木版を手伝っていた魯山人は、当時京都で流行っていた「一字書き」という懸賞に応募、次々と入賞し、書の才に目覚めます。美術展で上位入賞を果たしたのを機に上京し、岡本可亭の内弟子となった後、独立。その後、書の才能を磨くために韓国や中国を訪れ、帰国後は京都や近江、金沢などの素封家の食客となり、多くの人たちと面識を得る機会を持ちました。魯山人にとって運命的だったのが、便利堂の中村竹四郎との出会いでした。竹四郎と共に始めた京橋の古美術店で顧客に食事を供したのが発端となり、店が関東大震災で焼失した後、赤坂山王台に中村竹四郎を社長、北大路魯山人を顧問兼料理長として高級料亭「星岡茶寮」を開設します。魯山人は食器制作のために北鎌倉に窯場を設けましたが、そこに水脈を掘り当て水を引いたのが塩田岩治氏です。政財界の要人を顧客とし、一世を風靡した「星岡茶寮」でしたが、昭和11年には様々な経緯で竹四郎が魯山人を解雇、魯山人に残されたのは北鎌倉の自邸と窯場という状態になりました。このとき魯山人の窮状を救った実業家の一人が塩田岩治氏でした。

本展では塩田岩治氏旧蔵の魯山人作品約150点を一堂に展示いたします。当館収蔵の魯山人作品は、このような二人の親交を背景に、塩田家の生活の中で用いられてきた品々です。生活の中に息づく魯山人の世界を心行くまでお楽しみください。

Museum Collection II ● 塩田コレクション

北大路魯山人展



《色絵染付陶形鉢》1930-45年



《椿文鉢》1930-45年



《日月檠》1930-50年

コーナー展示
小展示室では、アート・ドキュメンタリスト安齋重男の写真を紹介します。

同時開催企画展
松本瑞樹コレクション ユートピアを求めて
ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム
2014年9月30日(火)～11月24日(月・休)

難波田史男の世界展
2014年12月6日(土)～2015年2月8日(日)



《天上下唯我招》1940年



世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL 03-3415-6011(代表)
<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
展覧会のご案内 03-5777-8600(ハローダイヤル)

交通案内
東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、または美術館行バス⑤「美術館」下車徒歩3分
小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス⑥「砧町」下車徒歩
小田急線「千歳船橋」駅下車、田園調布駅行バス⑥「美術館入口」下車徒歩5分
米袋者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先、美術館まで公園内徒歩5分



《桶形檠鉢》1930-50年